

次のうちいずれか一つを用いる。

すべての命と力の源なる神よ、あなたはみ子の力ある復活により、罪と死の古い支配の力に打ち勝ち、み子にあって万物を新しくしてくださいました。どうか、わたしたちが罪に死に、イエス・キリストにあってあなたに生き、栄光のうちにみ子とともに支配することができるようになってください。父と聖霊とともに、賛美と誉れ、栄光と力が、今もまた永遠にみ子にありますように アーメン

全能の神よ、あなたは独りのみ子を死からよみがえらせ、永遠の命の門を開いてくださいました。どうか、み子の復活を祝うわたしたちを、聖霊によって罪の死から命によみがえらせてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

使徒言行録

朗読者 「使徒言行録は第十章三四節から」

34そこで、ペトロは口を開きこう言った。「神は人を分け隔てなさらぬことが、よく分かりました。35どんな国の人でも、神を畏れて正しいことを行う人は、神に受け入れられるのです。36神がイエス・キリストによって——この方こそ、すべての人の主です——平和を告げ知らせ、イスラエルの子らに送ってくださった御言葉を、37あなたがたはご存じでしょう。ヨハネが洗礼を宣べ伝えた後に、ガリラヤから始まってユダヤ全土に起きた出来事です。38つまり、ナザレのイエスのことです。神は、聖霊と力によってこの方を油注がれた者となさいました。イエスは、方々を巡り歩いて人々を助け、悪魔に苦しめられている人々たちをすべていやされたのですが、それは、神が御一緒だったからです。39わたしたちは、イエスがユダヤ人の住む地方、特にエルサレムでなさったことすべての証人です。人々はイエスを木にかけて殺してしまいました。40神はこのイエスを三日目に復活させ、人々の前に現してくださいました。41しかし、それは民全体に対してではなく、前もって神に選ばれた証人、つまり、イエスが死者の中から復活した後、御一緒に食事をしたわたした

ちに対^{たい}してです。42そしてイエスは、御^ご自分^{じぶん}が生^いきている者^{もの}と死^しんだ者^{もの}との審^{しん}判^{はん}者^{しや}として神^{かみ}から定^{さだ}められた者^{もの}であること^{こと}を、民^{たみ}に宣^{つた}べ伝^たえ、力^{ちから}強^{ちやう}く証^{あか}しするようにと、わたしたちにお命^{めい}じになりまし^た。43また預^よ言^{げん}者^{しや}も皆^{みな}、イエスについて、この方^{かた}を信^{しん}じる者^{もの}はだれでもその名^なによつて罪^{つみ}の赦^{ゆる}しが受^うけられる、と証^{あか}ししています。」

朗読者 「使徒言行録を終^おわります。」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第二一八編 十四〜十七、二二〜二四節

- 14 主^{しゅ}はわたしの力^{ちから}、わたしの神^{かみ}こそわたしの救^{すく}い
15 喜^{よろこ}びと勝^{しょう}利^りの叫^{さけ}びが正^{ただ}しい人の天^{てん}幕^{まく}にある 主^{しゅ}の右^{みぎ}
16 神^{かみ}の右^{みぎ}の手^ては高^あく上^あがり 神^{かみ}の右^{みぎ}の手^ては力^{ちから}を示^{しめ}す
17 わたしは生^いき長^{なが}らえて死^しぬことなく 主^{しゅ}のみ業^{わざ}を告^つげ
18 知らせよう
19 家^{いえ}造^{つく}りの捨^すてた石^{いし}が 隅^{すみ}のかしら石^{いし}となつた
20 これは主^{しゅ}のみ業^{わざ} 人の目^{ひとめ}には不^ふ思^し議^ぎなこと
21 今日^{けふ}こそ主^{しゅ}が造^{つく}られた日^ひ この日^ひをともに喜^{よろこ}び祝^{いわ}お

う

使徒書

朗読者 「使徒書はコロサイの信徒^{しん}への手紙^{てがみ}第三章^{しやう}一節^{せつ}か

151

1 さて、あなたがたは、キリストと共に復活^{ふっかつ}させられたのですから、上^{うへ}にあるものを求めなさい。そこでは、キリストが神^{かみ}の右^{みぎ}の座^ざに着^ついておられます。2 上^{うへ}にあるものに心^{こころ}を留^{とど}め、地上^{ちじやう}のものに心^{こころ}を引^ひかれなようにしなさい。3 あなたがたは死^しんだのであつて、あなたがたの命^{いのち}は、キリストと共に神^{かみ}の内に隠^{かく}されているのです。4 あなたがたの命^{いのち}であるキリストが現^{あらわ}れるとき、あなたがたも、キリストと共に栄^{えい}光^{かう}に包^{つつ}まれて現^{あらわ}れるでしょう。

朗読者 「使徒書を終^おわります。」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マルコによる福音書第十六章一節以下に記され

た主イエス・キリストの福音。 主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

た。恐ろしかったからである。

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」

1 安息日が終わると、マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメは、イエスに油を塗りに行くために香料を買った。2 そして、週の初めの日の朝ごく早く、日が出るとすぐ墓に行った。3 彼女たちは、「だれが墓の入り口からあの石を転がしてくれるでしょうか」と話し合っていた。4 ところが、目を上げて見ると、石は既にわきへ転がしてあった。石は非常に大きかったのである。5 墓の中に入ると、白い長い衣を着た若者が右手に座っているのが見えたので、婦人たちはひどく驚いた。6 若者は言った。「驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活なさって、ここにはおられない。御覧なさい。お納めした場所である。7 さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる』と。」8 婦人たちは墓を出て逃げ去った。震え上がり、正気を失っていた。そして、だれにも何も言わなかつ